

浜 松 市
博 物 館
だ よ り

- ・ 展示紹介 小展示「5世紀の伊場遺跡」
- ・ 活動メモ 「屏風や襖の中から見つかる古文書」
- ・ はまはくトピックス
- ・ 「春休み体験館」のご案内



浜松市博物館で行ったイベントの様子

- ①古代の盤上遊戯「かりうち」の体験会
- ②火起こし体験(冬休み体験館)
- ③木甲ペーパークラフトづくり(特別展関連イベント)
- ④伊場遺跡見学会(特別展関連イベント)
- ⑤しめ飾りづくり(冬休み体験館)
- ⑥蜷塚遺跡ガイドツアー

伊場遺跡（浜松市中央区東伊場二丁目ほか）では、紀元2世紀の弥生時代後期に大規模な集落が築かれた後、一度は急激に衰退しました。その後、約250年が経過した古墳時代中期（5世紀）になると、再び人々の営みが活発になります。

この時期の住居にはカマドが設けられ、小規模ながら鉄器の製作も行われるようになりました。また、伝統的な赤焼きの「土師器」



伊場遺跡出土須恵器樽形はそう



伊場遺跡出土滑石製模造品

に加え、灰色で硬質の「須恵器（写真左）」も使われ始めます。こうした生活様式や技術は、朝鮮半島にルーツがあり、日本列島へ移住した渡来人の影響があったと考えられています。

伊場遺跡では、玉類の石製模造品（写真右）も出土しています。日本列島内で共通の祭儀具を用いた当時の祈りの様子もうかがえます。

本展示では、近年の再整理作業の成果を踏まえ、後に敷智郡の郡役所へと発展する端緒となったこの時代の様相を、貴重な出土品とともにご紹介します。

活動ノート びょうぶ ふすま 屏風や襖の中から見つかる古文書

屏風や襖の中には補強のため何層もの紙が貼り重ねられています。そこで使用される大量の紙は、屏風や襖が作られた当時の反故紙（現在の視点で見れば古文書）でした。これを「下張文書」と呼んでいます。

下張文書は本来であれば不要となって処分されていた可能性があるものですが、屏風や襖の下張として利用されたことによって現在まで残されてきました。

浜松市博物館では下張文書の調査を行っています。調査の際には下張文書がどのように貼られていたのかスケッチをしたり写真を撮影したりして記録をとり、1枚1枚はがしていく作業を行います。

根気のいる作業ですが、人知れず屏風や襖の中に眠っている古文書から新たな発見があることもあります。

近年、社会・家庭環境の変化による家の整理や災害による被害のため、それぞれの地域に残る古文書が失われています。それにより地域の歴史がわからなくなってしまうことがあります。下張文書を調査することで、地域の歴史を知る手がかりとなる古文書を残すことにつながります。



下張文書調査の様子

小展示「屏風や襖の下張文書からわかるもの」

会期：令和8年3月20日（金・祝）～5月24日（日）

会場：博物館特別展示室

博物館トピックス

佐久間支所連携

1日文化財 DAY の開催

令和7年11月9日（日）に佐久間の歴史と民話の郷会館小ホールにて1日文化財 DAY を開催し、連続講座 紀元2世紀の浜松を考える「山の民の交流」（参加人数49名）とはまはく講座「佐久間町の片桐鍛冶店の道具」（参加人数39名）を行いました。また、普段は見学に事前予約が必要な「さくま郷土遺産保存室」を1日開放し、50名の方が訪れました。同時期に博物館出張展「林業の道具 鍛冶屋の道具」（展示期間：11月8日（土）～11（火））で県指定有形文化財に指定されている山仕事の道具や佐久間地区にあった鍛冶屋の道具を紹介し、4日間で162名が観覧しました。



「林業の道具 鍛冶屋の道具」の展示

豊橋市自然史博物館連携

干支展「ウマ」の開催

浜松市博物館では、毎年、豊橋市自然史博物館との相互貸借により、その年の干支に関連した展示を行っています。今年の干支である「ウマ」にちなんだ化石や、鉱石、貝、昆虫の標本等を豊橋市自然史博物館から借用し、当館からは市内から出土した土馬や雨乞いに使用されたと考えられる馬の頭骨のほか、馬鞍、郷土玩具などの考古・歴史・民俗資料を展示しました（当館展示期間：1月29日（木）から3月8日（日））。



干支展「ウマ」の展示

博物館ボランティアの活動

浜松市博物館では、博物館ボランティアの方（71名の登録）が博物館事業に参加しています。現在の活動内容は、学校等団体見学時の展示解説、体験学習補助、体験館をはじめとしたイベント補助、常設展示のガイドがあります。

博物館ボランティアの活動にご興味のある方は、是非浜松市博物館ボランティア募集説明会へご参加ください。



学校対応の様子

浜松市博物館ボランティア募集説明会

日時：令和8年4月26日（日） 10時～11時
申込：当館 HP 内の申込フォーム
または電話、窓口へ直接（4/1～4/24）

11月から2月にかけて、博物館では様々な講座やイベントを実施しました。

- 11月 3日（月・祝） 蜷塚遺跡ガイドツアー（無料観覧日）
 - 11月 8日（土） かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし
 - 11月 9日（日） 佐久間1日文化財 Day（展示・講座等）
 - 11月 22日（土） 特別展ギャラリートーク
 - 11月 29日（土） シンポジウム「伊場遺跡群と弥生時代後期の文化」
 - 12月 13日（土） 特別展関連講座×ギャラリートーク
 - 12月 25日（木）～1月 4日（日） 冬休み体験館
 - 12月 26日（金） 文化財を未来へつなぐワークショップ
 - 12月 27日（土） しじみの森の探求ツアー
 - 12月 28日（日） 特別展ギャラリートーク、木甲ペーパークラフトづくり
 - 1月 10日（土） 特別展関連講座×ギャラリートーク
 - 1月 12日（月・祝） 特別展関連座談会×伊場遺跡見学会
 - 1月 18日（日） 特別展ギャラリートーク
 - 2月 8日（日） 古代の盤上遊戯「かりうち」の体験会
 - 2月 21日（土）・22日（日） 昔のくらし体験館
- ※第2土曜日 かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし

春休み体験館

令和8年3/20(金)～3/29(日) 【3/23(月)は休館日】

3/20(金)

ミニ織物体験～糸から布を織る～

- ①10:00～ ②13:15～ (約50分)
- ※各回8組まで
- 事前予約制 3/12(木)受付〆切
- 銅鐸ワークショップ
- ～銅鐸を3D画像で見てみよう～
- ①11:00～ ②14:30～ (約30分)

3/21(土)

火起こし体験

- ①10:00～ ②11:00～ (約45分)
- (9:30～受付開始) ※各回10組まで
- 文化財を未来へつなぐワークショップ～屏風の中に眠っている古文書を見つけ出せ～
- 13:00～ (約120分) ※5組まで
- 事前予約制 3/11(水)受付〆切

3/22(日)

親子向け歴史ガイド

- ～浜松の歴史を楽しく知ろう～
- 10:00～ (約60分) ※30人まで
- 蜷塚遺跡ガイドツアー
- 13:30～ (約60分) ※30人まで

3/24(火)

ごしごし、ごりごり！
昔の道具体験



- 9:30～11:30
- ※時間内体験可能

3/25(水)

自分の花押でオリジナル
缶バッジを作ろう

- ①10:00～ ②13:30～ (約30分)
- ※各回10組まで

3/26(木)～29(日)

春色まが玉づくり

- ①9:10～11:00
- ②13:10～15:00
- ※時間内体験可能



缶バッジ、缶マグネットづくり

- 期間中毎日開催
- ①9:00～11:45 ②13:00～15:30
- 小150円、大200円 (缶マグネットは小のみ)



クイズラリー

- 9:00～15:30
- 無料

3/28(土)、29(日)

体験ガイド

- ①午前の部 11:00～ (約20分)
- 「ドキドキ！土器にさわってみよう」
- ②午後の部 14:30～ (約20分)
- 「昔の火のつけかたを見てみよう！」

催し物案内 令和8年3月～5月

月	休館日	展示(本館)	展示(分館等)	講座・体験学習・その他
3	2日・9日 16日・23日 30日	干支展「ウマ」 開催中～3月8日 小展示「屏風や襖の下張文書からわかるもの」 3月20日～5月24日	市民ミュージアム浜北「伝統の浜北風」 開催中～5月21日 市民ミュージアム浜北「小百合葉子と劇団たんぼ展」 3月14日～5月6日 舞阪郷土資料館「浮世絵に描かれた『今切の渡し』」 4月4日～6月28日	14(土) かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし 20(金・祝) -29(日) 春休み体験館
4	6日・13日 20日・22日 27日・30日	小展示「5世紀の伊場遺跡」 3月20日～6月23日	市民ミュージアム浜北「小百合葉子と劇団たんぼ展」 3月14日～5月6日 春野歴史民俗資料館「むかしの暮らし展(仮題)」 5月12日～8月30日	11(土) かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし 26(日) 浜松市博物館ボランティア募集説明会
5	7日・11日 18日・25日 27日		青笠展「4月25日～6月7日」 姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館「野島」	3(日) -5(火) GW 体験館 5(火) 蜷塚ガイドツアー 9(土) かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし 17(日) 国際博物館の日記念フォーラム
6	1日・8日 15日・22日 24日・29日 30日			13(土) かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし

催し物等は、変更・中止・追加される場合があります。申込方法や詳細情報は、当館ホームページやSNSでご確認ください。

浜松市博物館

だより

Vol.44 No.3 通巻160号 2026年3月発行
静岡県浜松市中央区蜷塚四丁目22-1 電話 053-456-2208
<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/index.html>

HP

